

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 新たな観光資源の開拓・整備	② 施策番号	3416
③ まちづくりの方向〔政策（章）〕	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち		
④ 基本施策〔施策大（節）〕	4 豊かな地域資源を有効に活かし、さまざまな人々が行き交う観光・交流のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 観光事業の振興		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	産業観光課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	泉南市観光協会、観光客、市民、他地域の住民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	閑空のインバウンドのニーズに応じた観光資源の開発を進めることによって、観光の多角化を進める。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	国では、観光立国の実現に向けて、観光庁が訪日外国人旅行者の目標を2020年度は4000万人、2030年度には6000万人と上方修正した目標を掲げており、今後、その実現に向けて地方と連携しつつ今まで以上に注力するものと思われる。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	泉南市における休日滞在人口	人	本市総合戦略において、地域経済分析システム（Resas）における本市休日滞在人口率を数値目標として掲げているため。
	計算式		
②			
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R元実績	R2見込	R3目標	備考
①	泉南市における休日滞在人口	人	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	地域経済分析システムを活用
			実績値	130,000	130,000	130,000	—	—	
			達成率	81.3%	81.3%	81.3%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R元実績	R2見込	H30実績	R元実績	R2見込	総合評価	今後の方針	
1	観光振興事業	泉南市における休日滞在人口	人	130,000	130,000	—	24,388	20,925	18,451	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						24,388	20,925	18,451			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	新たな観光資源の発掘・開発への取組は、本市の多彩な観光事業の展開につながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	本市における交流人口は、ここ数年変化しておらず、活況を呈する関西国際空港のインバウンドを的確に取り込めていない。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	観光事業の実施主体は、市民(観光協会、事業者等)であるため、今後も補助事業において進めることが適切。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	国の観光立国に向けた取組に沿った事業を進めるため、本市観光協会を受け皿として側面から支援することによって、魅力的なちいきづくり及びにぎわい創出に寄与することができる。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	観光事業の実施主体は、市民(観光協会、事業者等)であり、とりわけ魅力的な観光資源の発掘、開発は、観光協会の自立に繋がる。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	観光協会の主体的な観光資源の発掘、開発の取組は、「稼ぐことができる地域」の実現に寄与するため、観光協会への支援はより積極的に進めるべき。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	現在の地域資源の磨き上げ、さらなる観光資源の発掘を継続。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	観光振興ビジョンに基づき、自主運営が可能となる取組を進めるため、法人化に向けた検討を行う。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	観光振興ビジョンに基づき、観光協会の自主自立を進め、法人化を進める。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	新たな観光資源の開拓・整備のための、観光協会の機能、役割の充実強化に向けた支援を継続して進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある